

目まぐるしく動くこの現代社会では、一人一人が「生きる力」を養い、貯え、維持していく必要がありますが、それは難しいことだと思います。

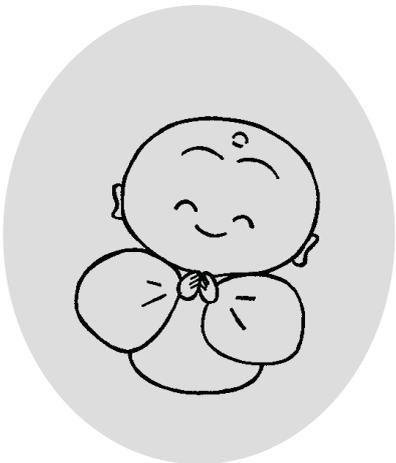
先日、NHKの番組で京都、嵐山の直指庵（じきしあん）というお寺が紹介されていました。お寺の本堂にはノートが置いてあり、そこを訪れた人が、それぞれの思いを書いていきます。「想い出草ノート」と名付けられたそのノートには、「そつとその意地を私の心（ノート）に捨ててください。苦しむあなたをみているのがつらいのです」という言葉が添えられています。お寺はとても静かで日常の喧騒からは隔絶されたように見えました。そんな場所に行くときつと飾ることのない素のままの心に向き合うことができるでしょう。多くの人が、胸に抱えてきた苦しみや哀しみ、後悔などを綴っていました。ノートの数は5千冊にも及ぶそうです。

厳しい現実を、どう受容していいか。それは簡単なことではありませんが、その方法の一つとして、この直指庵のような場所が必要とされているように感じました。自分の気持ちを見つめ直し、そして

「生きる力」

「生きる力」を得て、また、日々の生活へと戻っていくのです。そんな番組を見ているだけで、少し自分の心も楽になったような気がしましたので、ご紹介してみました。

このお寺だけでなく、他にもそのような場所はきつとあると思います。みなさんも、ご自身の「生きる力」を取り戻せる場所を見つけてみてください。



*このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願います。人権について考えるきっかけになることを目的としています。

お問い合わせは

人権啓発広報委員会

（ 880・6569 ）まで